

錢屋

十二少時 百八十文
十五下 車九文三
十五下 車父文

電気通信大学附属図書館

改纂金五集大成目錄

一 後つゝお帳より付
 一 大粒の名れり
 一 尺粒の名れり半
 一 四粒乃名れり
 一 急井さん割
 一 八さんのより一
 一 見一乃割并け算
 一 新石へけんの法
 一 検地付斗代盤
 一 も足先お虎のり
 一 枚成儀ねり
 一 栄割末束まり
 一 綿布賣賣のり
 一 落きつりれり
 一 儀張利是の半
 一 京糸の寸法
 一 平掃積并大掃
 一 桶大小のつり
 一 金せ後りふ
 一 正梨術 同平法
 一 正珠術 同平法
 一 洗統術
 一 鑓形二五の号
 一 二角の法四三起
 一 六角乃起
 一 八角の法四八起
 一 九角の法四八起
 一 十角の法四八起

一 米さうえ 並割付
 一 小粒乃名のり
 一 年粒の名れり半
 一 諸お座立のりり
 一 九九のりり一
 一 八等の割并け算
 一 一七割算并割は算
 一 一五安比形つ積
 一 知り方の半
 一 儀ねり入るり
 一 儀まりのり
 一 愛算さんそくの半
 一 作板を記るり
 一 落りふまり
 一 金張ぬきのり
 一 万年つりり
 一 柄枚京糸つり
 一 長き掃の積并大掃
 一 一米のりふん
 一 正矩術 同平法
 一 正圓術 同平法
 一 恰合術
 一 うろこごのり
 一 三角の半
 一 六角乃り
 一 八角半

去ほち
月
八十五

又彼の心を引く上にも此意を以てなすべしとてある

九九の歌

いろはさんめり

ツ	リ	九	三
ウ	リ	七	セ
ツ	リ	三	三
ウ	リ	三	三
ツ	リ	七	セ
ウ	リ	三	三
ツ	リ	三	三
ウ	リ	三	三
ツ	リ	三	三

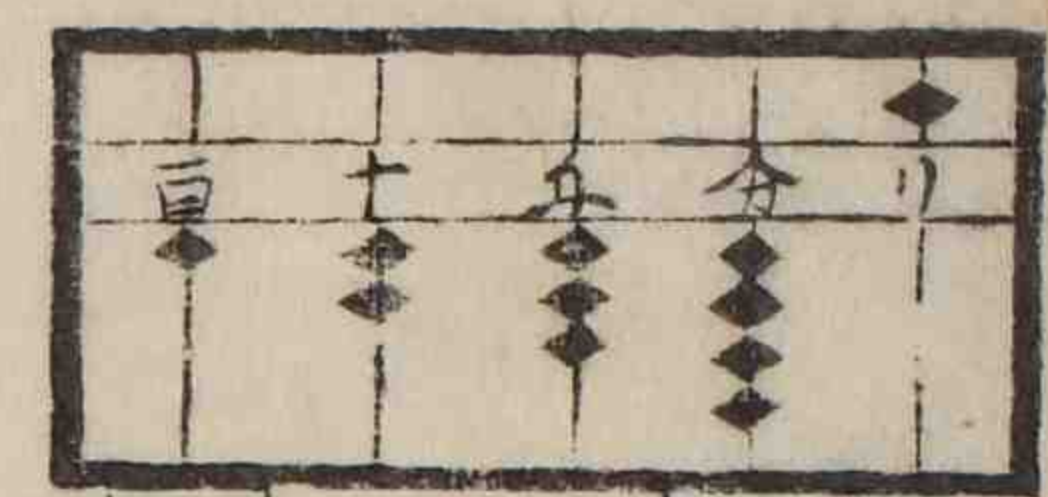
七九 五十二
●八十六 八九 七十二
●九十八 十一

第二 八葉付りの弁別

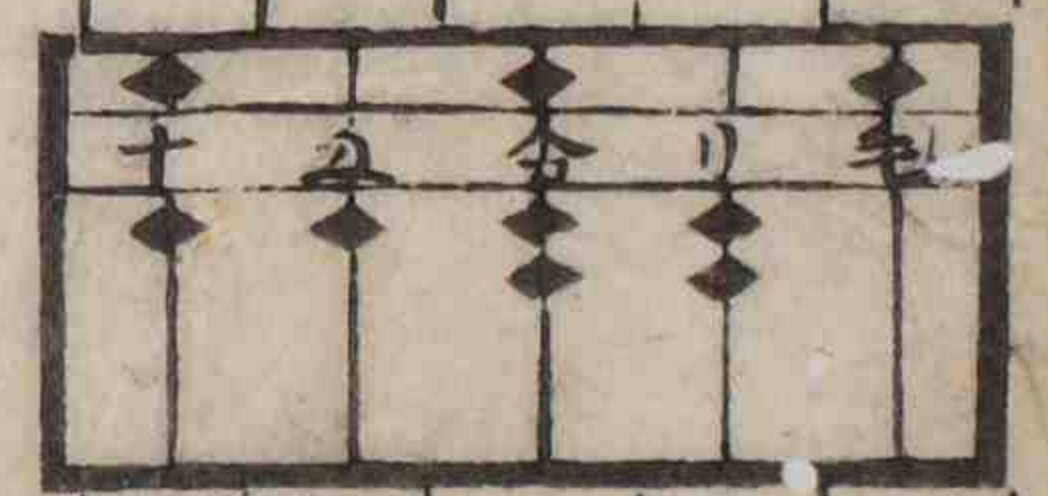
○二進一十
といふよわむはうりてゑぢ

○銀百貳拾五匁又壹分二釐
○六拾五匁又六分貳釐又七毫

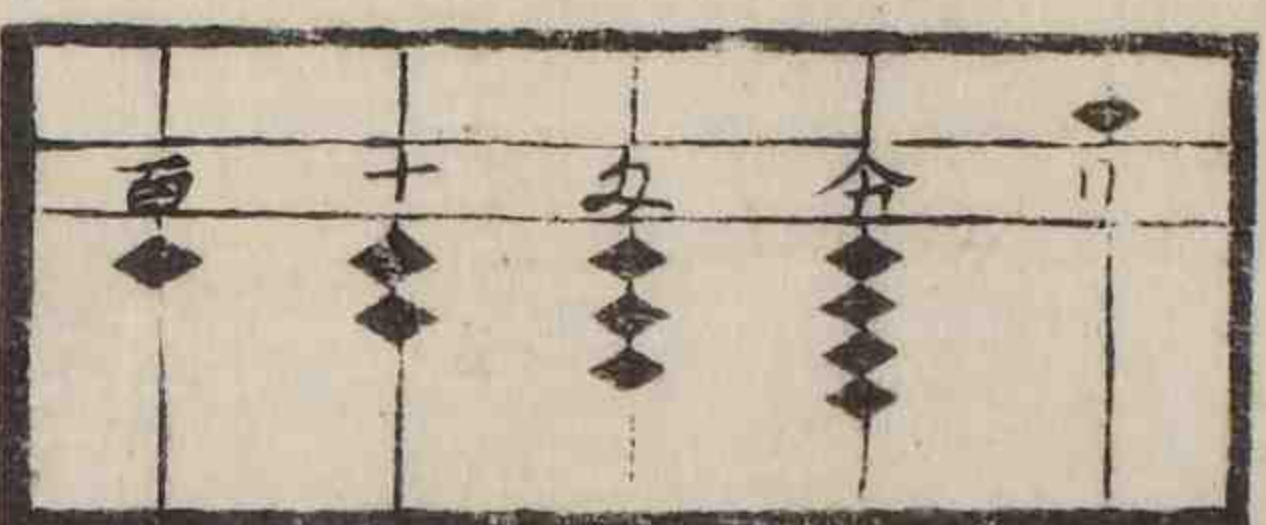
糸井 割



二五の十 二五の十 二天作五
二五の十 二五の十
二五の十 二天作五
二五の十
二天作五



二五
二二
二七
一二
二六



二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

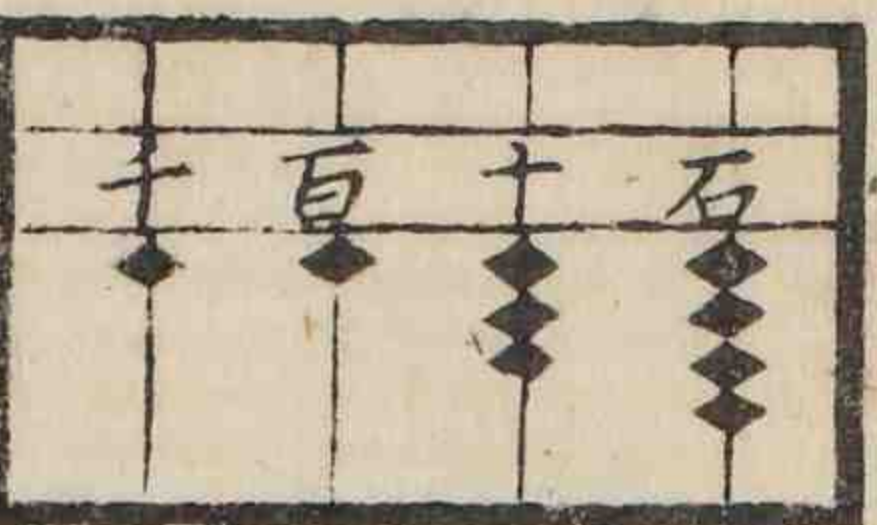
二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

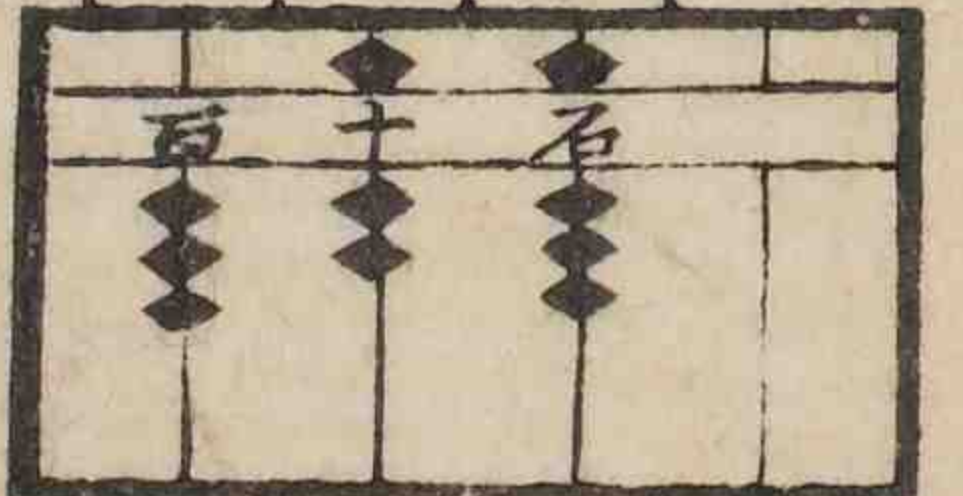
二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

糸井 割 二五とらそ 上二五の十 二五とらそ 上二五の十 二五とらそ 上二五の十 二五とらそ 上二五の十 二五とらそ 上二五の十

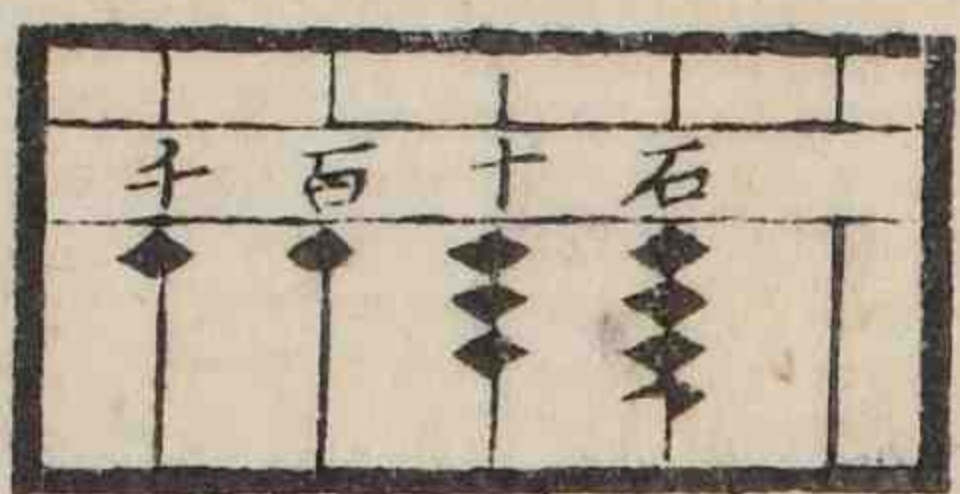


二五の十 二五の十
二五の十 二五の十
二五の十 二五の十
二五の十 二五の十
二五の十 二五の十



二五
二二
二七
一二
二六

糸井 割



二五の十 二五の十
二五の十 二五の十
二五の十 二五の十
二五の十 二五の十
二五の十 二五の十

二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

二五

二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十
二五とらそ 上二五の十

帳を要し拾式と号。割の式百入拾八元成

金	銀	銅
●	●●	●●●

四八の千
四三七十二
四二天作五
四一二十二

金	銀	銅
●	●●	●●●

四八 三十二
四五 二十
二四 八

割升め

金	銀	銅
●	●●	●●●

引
四八八二引とて二を分けて下の二を引く
四八八二引とて二を分けて二を引く
二の八引とて二を分けて二を分けて二を引く

五二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

五二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

五二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

五二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

五二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

五二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

米六石七斗粟二合五勺割の式百入拾八元成

金	銀	銅
●	●●	●●●

五二加二
五二加二
五二加二

金	銀	銅
●	●●	●●●

五二加二
五二加二
五二加二

割升め

金	銀	銅
●	●●	●●●

五二加二
五二加二
五二加二

六二加下四

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

六二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

六二天作五

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

六二加二

とある二の時
二ある二の時
二ある二の時

六五十二

といふより時ありていふと
あて下二つあるなり

六進二十

といふより時ありていふと
一つと下二つあるなり

後を更百をふに分つ割に二番五倍なるなり

金	百	十	一
●	●	●	●
●	●	●	●
●	●	●	●

六五 八十二
六四 六十四
六一 加下二
六三 天作五
六二 三十二

金	百	十	一
●	●	●	●
●	●	●	●
●	●	●	●

六九 八十二
六六 三十二
一六 六
五六 三十二
二六 十八

うめ井よりいふて引をろぐんとしをせむしよりを當代入
人つるにありていふと今人見とありていふと
ありていふとありていふと

七加下三

七進十二

七五七十一

七進二十

七加下六

七四八十五

七六八十四

米より七石を合つ七つ割に八石八斗八升二匁

金	百	十	一
●	●	●	●
●	●	●	●
●	●	●	●

七五 八十二
七四 八十二
七一 加下二
七〇 八十二
六七 八十二
六四 八十二
六一 加下二
六三 天作五
六二 三十二

金	百	十	一
●	●	●	●
●	●	●	●
●	●	●	●

七五 八十二
七四 八十二
七一 加下二
七〇 八十二
六七 八十二
六四 八十二
六一 加下二
六三 天作五
六二 三十二

八加下二

といふより時ありていふと
ありて下二つあるなり

八加下四

といふより時ありていふと
ありて下四つあるなり

八三加下六

と八三の時、三の二に六を
あはせ下二の二をさへ

八五加下五

と八三の時、三の二に五を
あはせ下二の二をさへ

八五加下二

と八三の時、三の二に二を
あはせ下二の二をさへ

八七加下七

と八三の時、三の二に七を
あはせ下二の二をさへ

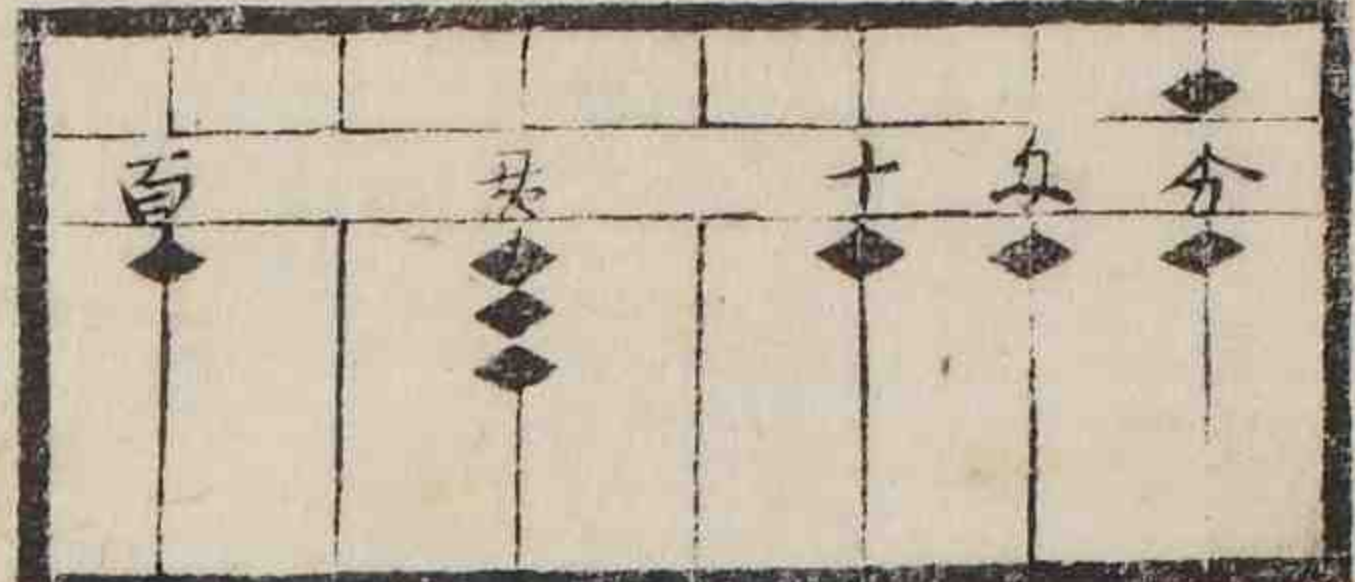
八七加下六

と八三の時、三の二に六を
あはせ下二の二をさへ

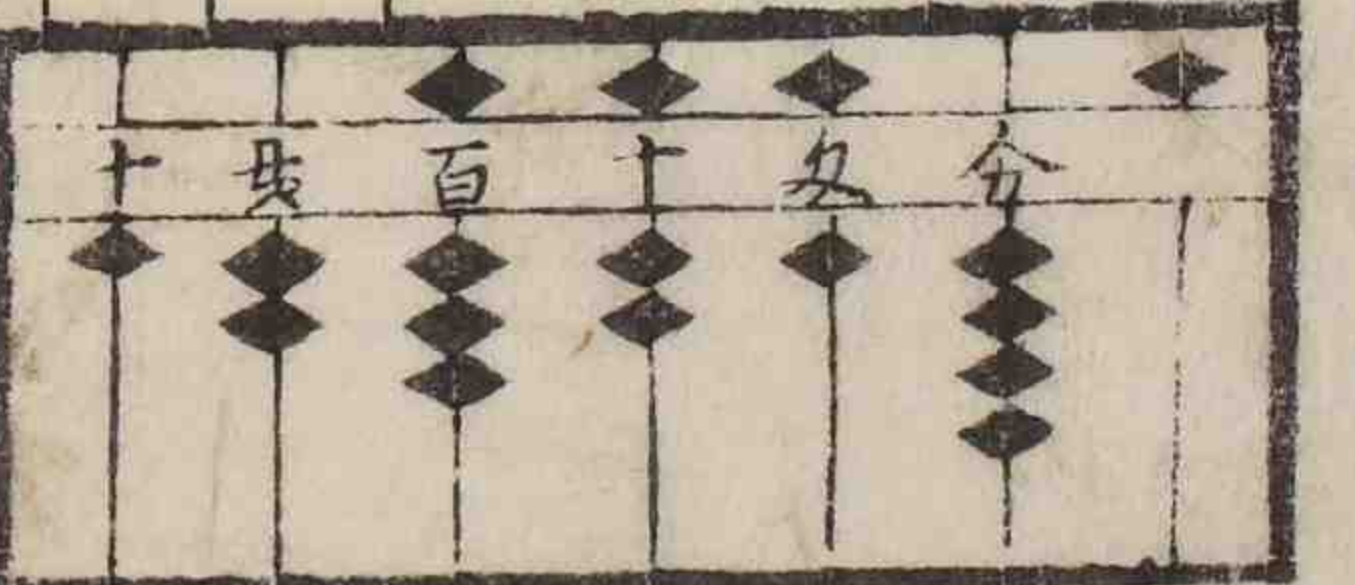
八進二十

と八三の時、三の二に二を
あはせ下二の二をさへ

浪石三乗後を五と分へ、割へ〇拾式貫八百七十九と分へ



八の千 八四天作五
八三加下六
八五加下二
八七加下七
八七加下六
八二加下四
八一加下二



八八加下十
八八加下二
八八加下八
七八加下六
八八加下六
二八加下六
一八加下八

九一加下一

と九つ、三の時、三の二に一を
あはせ下二の二をさへ

九二加下二

と九つ、三の時、三の二に二を
あはせ下二の二をさへ

九三加下二

右の時

九四加下二

右の時

九六加下六

同日

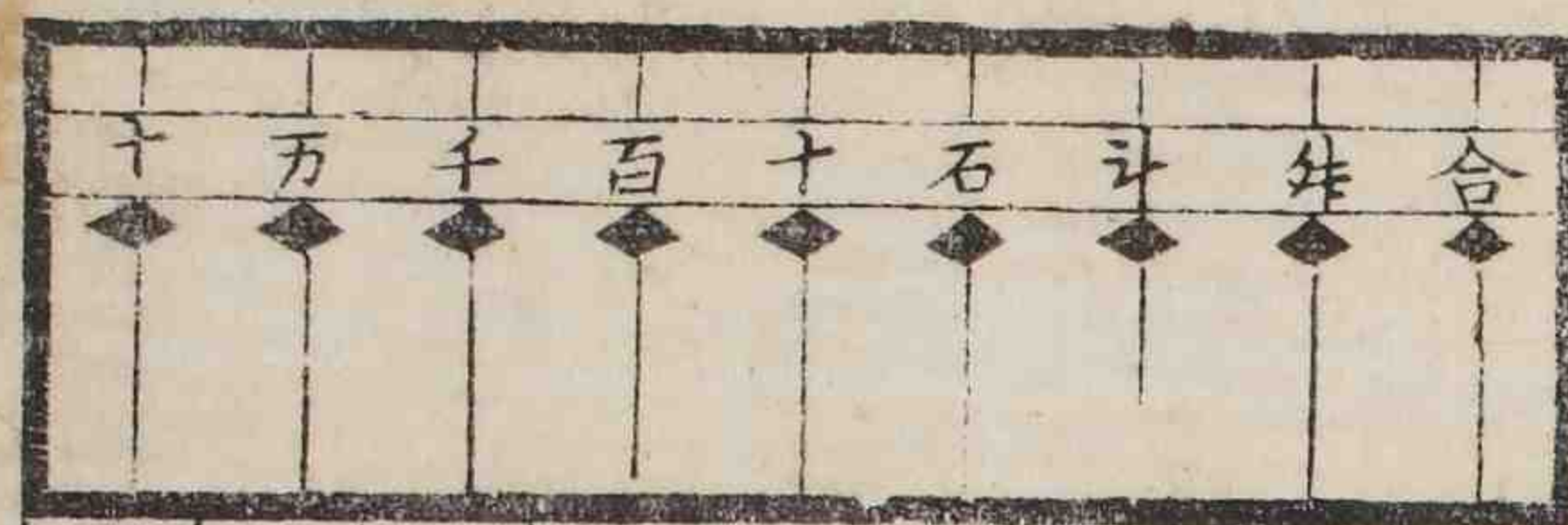
九七加下七

同日

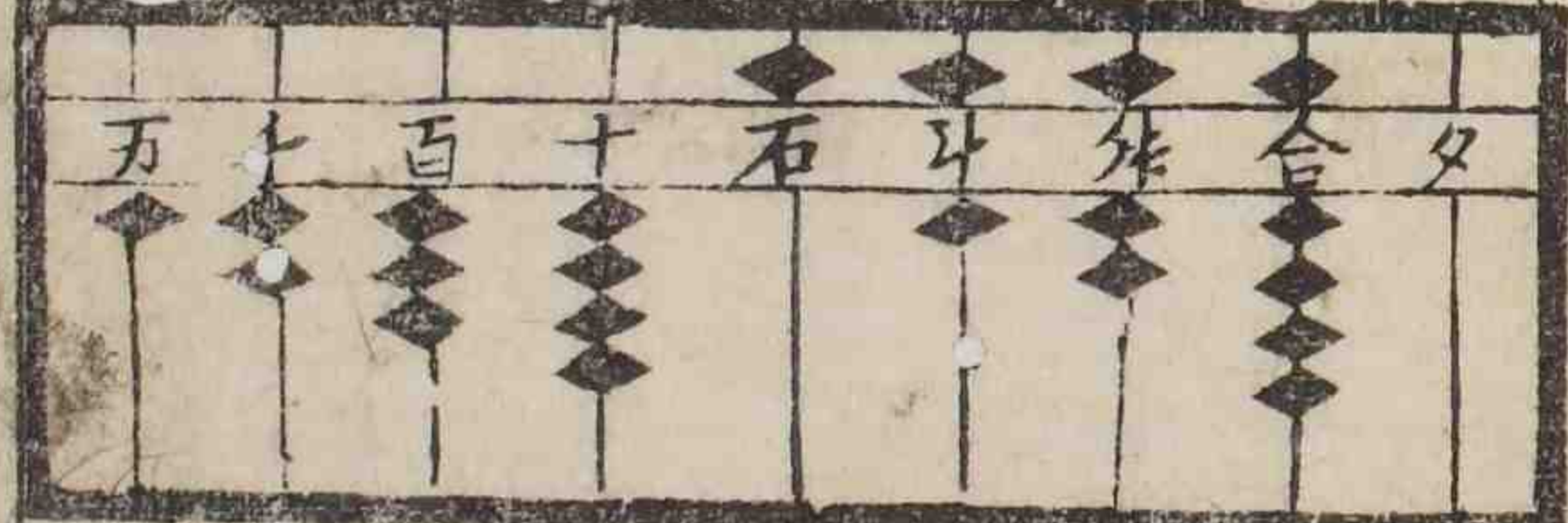
九進二十

と九つ、三の時、三の二に二を
あはせ下二の二をさへ

米後を万千百拾を五と分へ、割へ〇拾式貫八百七十九と分へ



九進二十
九八加下八
九七加下七
九六加下六
九五加下五
九四加下四
九三加下三
九二加下二
九一加下一



九九八十一
七九六十三
六九五十四
五九四十五
四九三十六
三九二十七
二九十八
一九十九

○ 第二見一并九と引毎付りいふは刻

見一五以恒九一

見一と自安一とすより割てハ割てハ割とる爲之に時三
二又て以リ也其の時見云作九の一とてぬ一と九と作下とく

一億一

とい割付と目安の差を云々といひ引たうもてひねぬ時、
倍といふより付乃内といひ引たうもてと云々なり


張百五ニ分^ラ十二割バ○ハ五^トづ^となる

[illegible]

二三ノ三
二八廿四

三八廿四
廿八とちち又外
廿四とちち又外

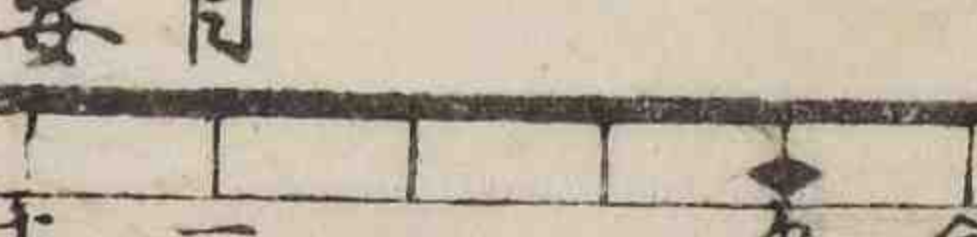
安目



十	一	百	千	分
1	3	1	1	4

右ハ其トナニと
くまを
○ 石の目下

安月



千 一 百 分

十 一 百 分

ふりてふりて
ふりてふりて
ふりてふりて

九
二
三
七
八


二の一引ひきを以てハルはる。今も此の如く一と四母の一三ノ下を引あり
 及のハと四母の三八廿四一 亦ハルを引四下を引下にのろ
 とを九くミビ

ハ、二のろとをび一をうて下にきくやり

右又ふうと十二の刻之何程までもおろしをもち
光といまぬ針筭と若くびりしある筭なり

いふは美多割

安月



千	百	十	分
1	1	1	4

目
安

右月十二刻之先百々下とすすふ引でつとへ立又すふ引でつとへ立まけ
ねよを程ふ此のころとそ直下引た上につつと立ちぬ又と立時上八分
七毫とゆゑに何程ても目安の較程づりてうつととへ立又此のころを引時とてこれ
立はすれたのころ引て立付ハ算見一丸もあらずして何程のるも日とくみける時
つ引て目安乃較程とへ立何程ともふちら同あり

一	九	三
二	八	七
三	七	六
四	六	五
五	五	四
六	四	三
七	三	二
八	二	一
九	一	〇

張五拾を貴書百廿式ぬり下とみふ八百みづ割ハ

○ハ五ハふ六重づみ成

安目 分 今 寸

寸	分	今	安目
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十

寸	分	今	安目
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十

見五を以作九五
不引時取一倍五

○ヨリこそ
目ひこそ
うけこそ

張五拾を貴書百廿式ぬり下とみふ八百みづ割ハ

○みふ九ふ八重六もづみ成

安目 分 今 寸

寸	分	今	安目
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十

寸	分	今	安目
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十

見一を以作九六
不引時取一倍六

○ヨリこそ
ひくこそ
うろこそ

安目

寸	分	今	安目
一	二	三	四
五	六	七	八
九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六
十七	十八	十九	二十

○又念六と九も二拂づ成

見七字以作九七
以爲數時以一倍七

以負數時減一倍七

張七拾八貫百五拾九匁六厘ヲハミ買テ
○九匁七下六リニヌモツク

○カヌセトオリシムもづし

見八要作九八
不引時論一倍八

不引時一億八

銀八百之拾壹百八十九匁八分九厘_ラ九万九百五十三兩

○九段をトエリ八毛つゝ

長年五局
四百八坪

右十二石七斗五合二勺
割ゆへひろきふとせへ地

川五郎 廿十二日、方三
方二る、ふれ、九日、是、廿四、ふ、か
く、ふ、百、〇、ふ、あ、なり

一五二畝

十石
 又二畝
 四の法を以て五畝を及二畝と歟
 是の十八石三斗十石と云

六十万

四畝

三
二
一

毛ハ四畝とニテ割ルニ百と
あるこれ又十畝と云れハ百々
坪と成これを田の法ニテ之を
四畝となす

北
西
易
卦

是ハ二十五石と二ツミヨウをねま
 居とくれハ二百坪とあること
 田の法三ミレバを反とあるく

玄界薬二盆!! ▲ 乞ふと取ると取ると取ると

十

二百十六坪と成是に七九とくれば
二百〇二坪二分四厘と成是と面の
積の二倍は六百六十六坪二分四厘

三五九畝之步

大坪五七と四の枝三ツヨクなり
 とあり二五坪の内て引掛五百七十
 六坪と八坪と一八坪と三三坪と四
 坪と五坪と六坪と七坪と八坪と九
 坪と十坪と十一坪と十二坪と十三
 坪と十四坪と十五坪と十六坪と十
 七坪と十八坪と十九坪と二十坪と

三十一日 十月十日

[illegible]

取は長九寸五分

▲をけり入る寸と表在乃サニ
入とけり十二入寸と表を三
入とけり八入寸と表を二
の法四三入とけり半二入八と表を

卷之十一

十二万七千九百一十二坪とあるは
 二万七千九百一十二坪とあるは
 二万七千九百一十二坪とあるは

二八

九百八十九坪と云ふを三十八坪と
云ふ三百四十坪と云ふを云ふは
七十八坪と云ふを田の法に割り
八畝六歩と云ふ

長平八百
一五二步

五歩

四十百

~~三石六十坪
 三石六十坪~~

六十畝

11

A diagram of a quadrilateral with vertices labeled in Chinese characters: 上 (top), 下 (bottom), 左 (left), and 右 (right).

三及八畝十七歩をハ先十八畝八歩
と都合サ六畝八歩は四十八畝と云
千四坪と改たはハ又サ又サ又サ
十四畝と云ハ十八畝ハ又サ又サ
と云ハ又サ又サ又サ又サ又サ又
又サ又坪と改たはハ又サ又サ又
又サ又坪と改たはハ又サ又サ又

入及丸散方

八百四十坪とありは十二坪より八
七百八十坪とありは四の坪より
五の坪より九坪十坪とありは

是ハ十六百又又五ノ廿五
 又十六と成 是を四の法ニ
 以れば八或十六歩と成

▲長百二万横十層五面公及百畝之尤と富仍時
う條の廣異人々を奪つうて四方異り三も争
とやりけとを引て獲る地何れぞと曰
十層
長百二万横十層五面公及百畝之尤と富仍時

切時先匠二局ニありとくれい十ノ交ニ本
 匠は内匠川跡と匠屋守にて別匠屋守
 とも匠屋守匠とくれい十七丈ある匠屋
 守三丈十房と匠屋守と匠屋守と匠屋守

[illegible]

切時先二局三局とくれい十、五、三、一
ぬは内す川、砂と、石、土、す、て、別、の、石、土、
の、と、ぬ、も、三、尺、と、くれ、十、七、丈、を、ぬ、を、
ぬ、三、五、十、尺、と、ぬ、五、尺、と、ぬ、五、尺、と、ぬ、
す、川、は、砂、土、五、尺、八、寸、と、ぬ、先、と、ぬ、の、全、土、
土、を、入、つ、れ、足、坪、三、万、七、百、四、十、八、坪、を、
先、と、年、坪、の、法、で、三、八、と、ぬ、れ、八、百、九、
七、分、九、リ、と、ぬ、先、と、ぬ、の、法、三、尺、二、分、五、
二、九、分、七、分、九、リ、と、ぬ、と、ぬ、なり

又たの留うひを三三切付ハニ反九畝七分二厘然
くのとく一畝の地はともこの切を三三切て此方
を分ち来る ●右のけんちのかいをく此程
を五と以てをを時乃又合ふてけんちの折を
くよとんとく四角く三九ををふてをく

五代

二反又畝とて是を反付斗代を石八斗とてけり何れと向
 する石八斗とて右ハ反又畝ニ石八斗とてれば石八斗とてけり
 八畝十歩の時反付石八斗付てけり何れと向する石八斗とてけり
 十畝とてけり十歩とて石八畝とてけり石八斗とてけり
 是所ニ反三畝とてけり石八斗とてけり何れと向する石八斗とてけり
 右ハ石八斗とて石八斗とて石八斗とてけり

知方の刻

▲高十五万石付如成男あふ、
 御付如成を乞ひ付口米年々支米八千つゝしとけりとの物
 御河程そ口米支米何程ぞと云 答如成六万石子口米三万七千石支米五万石付
 又如成八千石付
 と云ふそれと云ふくれば本年より年々支米九合七万石に而九十九と二夜とあるべ

相成なるを以て八千、また之に合せり六千九百五十四なり。又相成ハ宮六千五百、

相成二万付ニ系、また六千相成二万付八千つゝ一といはる何程と云ふ事ナリ。又

在ニ系トハ木合を中一本ある是ニ入るて宮六千とされ、二分と云ふ事とある。是と

目安より七千六百九十九とされいさしと云ふこと。

三木の分
 三何れをも
 本屋六万九千石と云

在七万六千九百九十九年九月九日

▲二条のに糸入キノ糸二に合セヨスル九十石ヲ附付ナキハ何程トハ
ナキ六万九千石ト云、右ハ二條の糸と云、糸一本といふれハ糸と知

又云のに承てうへ何れとせむ
以承式十七とて

衣七子 五石九十九石ニ条とくひして五斗一斗を割入に承あてり

入妻系とつ附ハ七子ハ九十九ハ八系とくけ
妻系一系でるれハ五と入

▲字十五万石は、お城が万九千石を是といつゝ、うちにあると

何れを二つととり
 太い足と目安かりて
 おろりとろくべり

[illegible]

毛見免お虎の半

一、一、二十石のおき、
 各五分式をふも、
 水俣とて、
 中島合十四町二五二畝、
 南まも上中トとん、
 一、一、百六十九、
 もと百六十九、
 廿六粒づ、
 王粒とい、

1. 是れはふく人の来子石と成二子言さする一子ふくけぬと教するふく
今そはれはふく人來さるぬとふく言人の来教とあるもこれなり

万葉集今言に後を分るしと人用

▲後そは八五の實地さうとす五の後とす五なり 掛いたの代後で何なり
れうと何なりとふくし 何なりとふく 後のお場とす五とけ十五なりと割く
▲金うそは八五の實地さうとす五の金とふく 拂ひ返して何なりと何
なりと何なりとふく 何なりとふく 小判のお場とす五とけ十五なりと割く

▲お場とす五とけ十五なりと割く 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく

▲お場とす五とけ十五なりと割く 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく

後より一の年

▲四斗後子に百斗後とす五とけ十五なりと割く 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく

▲五斗八十石の時を石に二斗五合つて五斗とす五とけ十五なりと割く 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく

▲およりつひ年とて東條のか、おより年とて東條のか、おより年とて東條のか
おより年とて東條のか、おより年とて東條のか、おより年とて東條のか

▲つひ年とて二斗五合つて五斗とす五とけ十五なりと割く 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく

策新本末より一 年、うりふ換物ある

▲策新本末より一 年、うりふ換物ある 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく
何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく 何なりとふく

○竹を八寸のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
め竹何程よりてめとの廿束を分めておくと右を八寸ぬき合を
不足束とすれば八束を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの
○又右の二合分しといふ何程よりぬき合を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合を束ねるにけり

○竹二束のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの
○又右の二合分しといふ何程よりぬき合を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合を束ねるにけり

○こけいそまのいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの
○又右の二合分しといふ何程よりぬき合を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合を束ねるにけり

第十三 絹布賣賣

○布一丈二丈五丈を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの

○布二丈五丈を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの

○布三丈五丈を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの

○布四丈五丈を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの

○布五丈五丈を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの

○布六丈五丈を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
よりて二合のいゝまゝで百廿五束を束ねて一四サを束ね不足はけりには二合分
とぬき合を束ねる又二束をけりぬき合を束ねておの

○第十四
病うりふまり

○よく二十枚賞付而收付張ナラズぐうして二十枚の代何程ぞと向
二百六十と云右に二十枚三十枚と云ふればも代ナラズなり

○ 張三百六十にてしるし付面紙をすきまづうては張をくちねと云ふ三枚と云ふ
右の張と面紙の代てこれいしるしをくちねと云ふなり

○又張るるをく何程よあるといふにくを張るるを
そとに付八段に分けり。そととをくをく

○二寸とく二寸ぬと守とく少ぬりて何程ふぬぞと向千六百半をぬきぬと
 右二寸ぬとまけ九とぬそよ二寸ぬとくぬ七とぬか主二寸とぬまけ五とぬ
 是と同安うして左の二七とよりちり

○四寸より六寸八寸をぬくと二寸より二まりて何程ぞと云ふをぬとり
 在りて六寸七寸をぬくと五寸に上りて何程ぞと云ふをぬとり
 ○二寸より四寸と云ふをぬくと何程ぞと云ふをぬとり
 ○二寸より四寸と云ふをぬくと何程ぞと云ふをぬとり

○第十五 病ごつもり此半

沢ひやうふ一雙

山(水) 舟のりくはるす

うす四人七寸

○も廿四寸とて、是をすのまぬ所、一尺、病を耐えり、とす、五分
又五分、僕をす、其方の、八と、方、十八、とて、とて、い、病、と、なり、と、い、なり、
守、病、何、程、と、向、各、三百、九十、程、を、と、右、左、を、す、い、と、
これ、九、と、す、と、い、四、ぬ、なり、と、す、い、九、と、す、と、も、と、と、
い、て、守、守、と、い、ぬ、九、十二、と、い、と、又、す、又、分、と、す、と、い、
と、十、と、い、ぬ、九、と、い、と、右、九、十二、の、四、と、い、い、と、
百、五、と、い、ぬ、と、い、の、病、に、十、と、い、て、割、八、百、と、七、と、分、と、い、ぬ、
と、の、分、と、も、と、い、ぬ、一、と、い、ぬ、二百、九十、程、を、と、と、

式本に三すく
七百枚今より
長九入の金くら

之れ字百五十坪ぬ存ありまゝすぬまけ
合九ぬぬてふの二百五十坪と刻ハ二百八ぬ
とぬも二とふたし七面ぬとすぬなり

○三教人等より礼を請ふ所長にあらで二天公を奉りて今守るは是に三寸毫髪も入るべし